※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　（学）教育科

教科	（学）教育	科目	カウンセリング演習	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「カウンセリング演習」は総合学科ならではの特色ある科目です。カウンセリングの基本的な態度を再度確認し、様々な心理療法に関する演習を通して、カウンセリングの技能を身につけよう。
・「カウンセリング演習」は後期科目のため１日に２コマ分の授業を行います。
・「カウンセリング演習」では、１つのテーマに対してお互いに意見を述べたり、グループで議論したり、考えたことをレポートにまとめ発表するといったプロジェクト型の学習を行います。
・傾聴や相槌体験、観察記録、コミュニケーションゲーム、　絵画療法、箱庭療法といった多くのカウンセリングに関する演習を行います。積極的に取り組んでください。
・授業で取り組んだ演習の中で興味のあるものを調べてまとめる課題を定期的に提出してもらいます。根気強く取り組んでください。
・授業中のプリントの記入においては板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。枠外にあるメモ欄に授業で取り扱った内容について自ら考えたことや気になった点を記入してください。

2　学習の到達目標

カウンセリングの基本的な知識を活用して、様々な心理療法に関するグループ演習を実践し、カウンセリングにおける基本的な態度について理解を深め、カウンセリングの技能を身につけることを目標とする。
（１）グループ演習を通して、心理療法についての理解を一層深めるとともに、カウンセリングの技法に関わる情報を自ら調べまとめる技能を身につける。
（２）多様多種なカウンセリング演習を通して、その効果を体験し、実生活場面で生じる様々な問題の解決に有効な働きがあることについて理解を深め、社会の変化に伴う心理的な諸課題を解決する力を養う。
（３）広く社会に貢献しようと主体的にカウンセリングに関する専門的な学習に取り組み、現代における心理的な諸課題を解決している。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	傾聴・積極的傾聴・質問法・絵画療法・箱庭療法などの心理療法に関する演習を通してカウンセリングの基本的な態度について理解を深め、関連する技能を身につけている。	自己の感情の取り扱いや自己概念についての考察を深め、心理療法に関する基礎知識を日常生活で生じる諸課題に対して応用、活用する方法について議論し、課題を解決する力を身につけている。	修得した知識・技能を活用して、現代における心理的な諸課題の解決に向けて主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4月 ～ 2月	カウンセリングの基本的な演習	1. カウンセリングの基本 2. 傾聴	a:座り方を意識した傾聴・開いた，閉じた質問法を活用した傾聴演習を通して、カウンセリングにおける基本的な態度である自分も相手も尊重した関わり方を身につけている。 c:演習の中で相槌のタイミング・傾聴の態度・話し手の感想・観察者の感想等をノートで記録しまとめることで、互いのよさを認め合いながら、よりよいカウンセリングの在り方を評価･改善しようとしている。	ワークシート		ワークシート 観察
		3. コミュニケーション 4. 絵画療法	a:バーバルコミュニケーションとノンバーバルコミュニケーションの意味と役割を整理し、非言語コミュニケーションとその想定される意味についての理解を深めている。 b:絵画療法の演習を通して、その特徴・メリット・多様多種な技法がある点を整理し、疾患等があり言葉･会話の表現が苦手な人とのコミュニケーションの在り方について能動的に議論している。	定期考査	定期考査 ワークシート	

※令和４年度以降入学生用

	カウンセリングの発展的な演習	1. 箱庭療法 2. 色と心理 3. 色の感情作用	a:箱庭療法の演習を通して、その歴史を調べ、遊びや自由に表現できる心理療法の特徴やメリットを整理している。また、演習を繰り返すことで作られた作品の見方に関する基本的な技能を身につけている。 b:色の感情作用に関する過去の事例研究を通して、自らの考えを表現し、演習の中で他者と議論を進め、心理的側面から見た色の役割について、より一層考えを深めている。 c:心をくつろがせる色・人間関係を変える色・食欲をそそる色の分類を他者と協働しながら進める中で、心理面における色の役割について自らの考えをもち、色のもつ感情作用に関する学習に積極的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 レポート	ワークシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度